完全生分解性 緩効性肥料

硫黄被覆肥料

硫黄被覆尿素／硫黄被覆化成

- 肥料成分がゆっくりと溶け出す
- 被膜は、自然界で全て分解される
- 被膜の主成分が作物の養分になる

やさしさで つつまれる、安心感。

サンアグロ

硫黄被覆肥料とは、天然成分の硫黄で肥料を優しくつつみ、微生物が被膜を分解（自然にかえる）、肥料成分がゆっくり溶け出し、肥料効果を長く保つ、環境に優しい肥料です。

完全生分解性　緩効性肥料

硫黄被覆肥料

硫黄被覆尿素／硫黄被覆化成

1. 肥料成分がゆっくりと溶け出す
2. 被膜は、自然界で全て分解される
3. 被膜の主成分が作物の養分になる

◆長期間肥料成分を供給 ➡ 施肥回数を減らせ、省力化
➡ 安全・安心な作物づくり

◆肥料成分の吸収率アップ ➡ 施肥量を減らせ、コスト削減
➡ 地下水等への流亡が少なく環境にやさしい

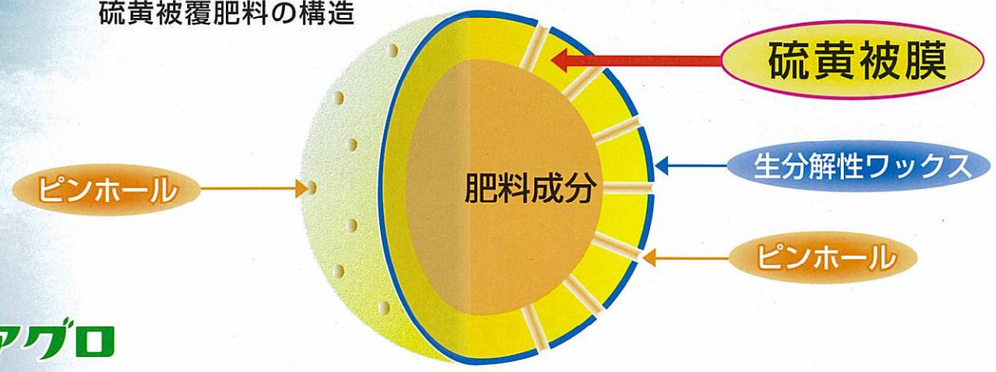
溶出タイプ（地温25℃の時、80%溶出）

（硫黄被覆尿素／硫黄被覆化成）の銘柄と肥効の目安

銘　柄	肥効の目安
短期溶出 Sタイプ	約60日
中期溶出 Mタイプ	約80日
長期溶出 Lタイプ	約110日
超長期溶出 LLタイプ	約140日

自然に、何も残さないやさしさ。

硫黄被覆肥料の構造

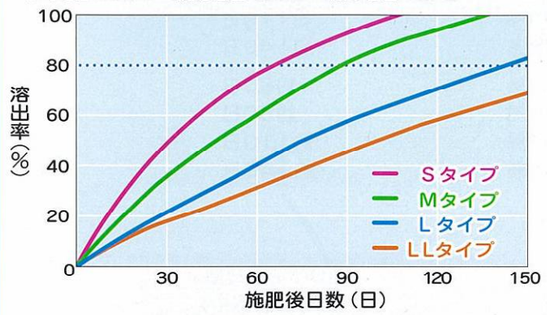


サンアグロ

実施事例

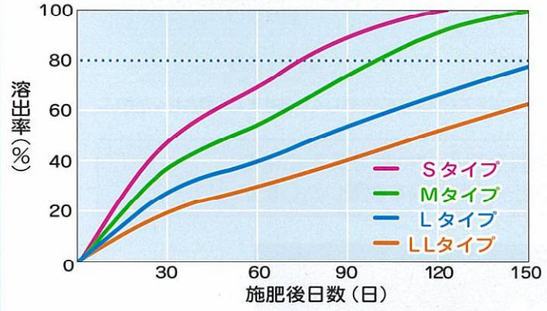
水田での溶出（長野県：5月～9月）

平均地温：20.6℃　最高地温：26.3℃　最低地温：10.7℃



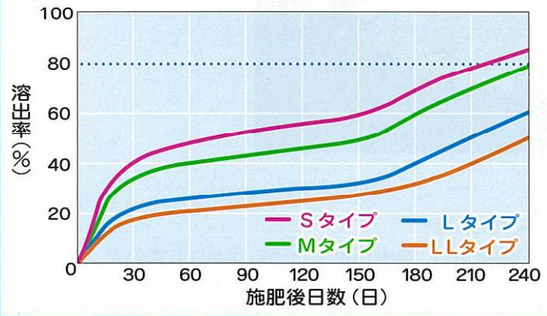
露地畑での溶出（茨城県：5月～9月）

平均地温：23.4℃　最高地温：32.0℃　最低地温：14.8℃



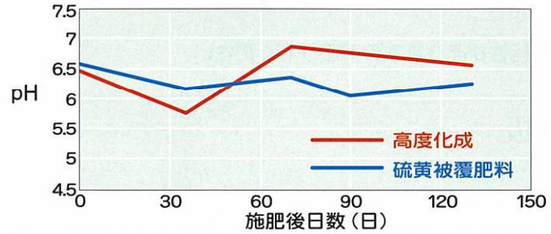
露地畑での溶出（青森県：11月～6月）

平均地温：7.1℃　最高地温：16.4℃　最低地温：0.5℃



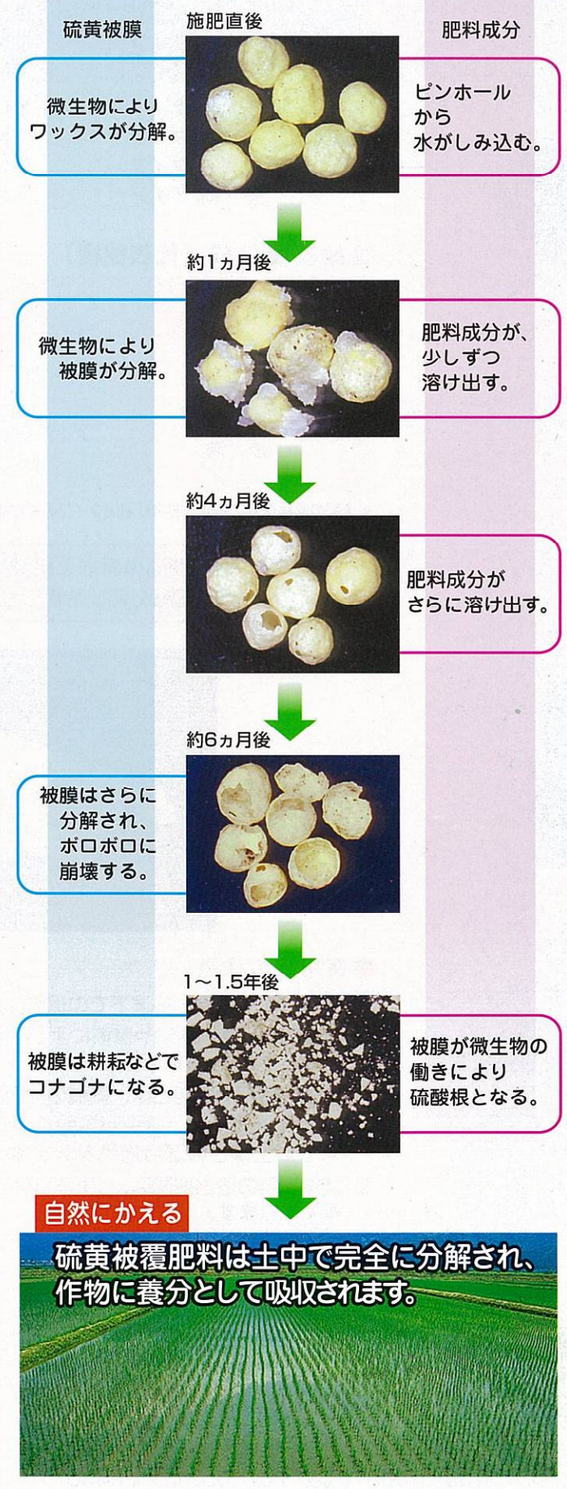
土壌pHの変化

ハウスキュウリにおける各種肥料が土壌pHに及ぼす影響（高知農研）



被膜主成分の硫黄は塊状になっているため、酸化される速度が非常に緩やかです。そのため、急激なpHの低下は起こりません。
（通常、pHを1下げるために必要な硫黄（硫黄華）の量は、80kg/10a前後です。）

土にかえるまで



● 銘柄一覧

硫黄被覆尿素

銘　柄		保証成分 （全チッ素量）	80%溶出日数 （25°C土壌中）
水田用	Sタイプ Mタイプ Lタイプ LLタイプ	TN：37% TN：36% TN：35% TN：34%	約60日 約80日 約110日 約140日
畑　用	Sタイプ Mタイプ Lタイプ LLタイプ	TN：37% TN：36% TN：35% TN：34%	約60日 約80日 約110日 約140日

硫黄被覆化成（代表銘柄）

銘　柄	保証成分 （チッ素ーリン酸ーカリ）	80%溶出日数 （25°C土壌中）
水田用 および 畑　用	14ー0ー14	約60日
	11ー14ー13	約80日
	12ー12ー12	約110日

※上記の銘柄以外にも成分および溶出タイプの異なる銘柄を取り揃えておりますので、詳しくは弊社までお問合せください。

溶出期間の異なる硫黄被覆肥料を組み合わせることにより、
作物の養分吸収特性にマッチした一発型肥料を製造いたします。

● 使用上の注意

1. 直射日光や高温・多湿下での保管は避けてください。
2. この肥料は強い衝撃や摩擦によって被膜が一部損傷し、溶出が早まる恐れがありますので注意してください。
3. 機械で施肥する場合は、機械の取扱説明書をよくご覧の上、使用してください。
4. 表面施肥の場合、溶出が不安定になることがありますので、安定した溶出が得られるように土壌との混合施肥をおすすめします。
5. 被覆肥料の溶出期間は、土壌の温度によって変化します。特に、低い温度では溶出期間は長くなります。
6. 施肥後の蒸気消毒は溶出性が損なわれる可能性がありますので避けてください。

サンアグロ
サンアグロ株式会社
〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1丁目10番5号
Tel. (03)3510-3601(代表)　Fax. (03)3273-8430
http://www.sunagro.co.jp/

取扱